

FAO/WHO合同食品規格計画（コーデックス委員会）  
バイオテクノロジー応用食品特別部会について ～続報～

平成17年6月7日

表記特別部会について、現時点での予定は以下の通り。

1 第5回特別部会の開催日時及び場所について

- 開催日時 平成17年9月19日～23日
- 場 所 幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区）

2 第5回特別部会において想定される討議内容

- 本特別部会（平成17～20年度にかけて4回の開催を予定。）においては、遺伝子組換え食品の研究開発の対象範囲が、前4回（平成11～14年度）の特別部会でガイドラインを作成した「植物」、「微生物」から、「動物」や「新たな特性を付加した植物」に拡大している状況等を踏まえ、新たな課題について、科学的知見及びリスク分析に基づいた国際規格及びガイドライン等の作成に取り組む予定である。
- 具体的な検討対象課題は、今年度開催される第5回特別部会において討議される予定であるが、先般、加盟国及びNGOより提出された意見が配布されたところ。（別添1参照）
- その他の議題としては、他の組織で審議・検討されたバイオテクノロジー応用食品にかかる成果の報告、他のコーデックス部会からの報告等があることが想定されている。

（関連資料）

- ・ 別添1：第5回バイオテクノロジー応用食品特別部会：検討事項に関する各国コメント  
([ftp://ftp.fao.org/codex/ccfbt5/bt05\\_04e.pdf](ftp://ftp.fao.org/codex/ccfbt5/bt05_04e.pdf))
- ・ 別添2：遺伝子組換え動物（魚類を含む）由来食品の安全性評価に関するFAO/WHO合同専門家会議（2003年11月17日～21日）報告書要旨 日本語仮訳